授業名	**地域課題解析講座【EA】**		
英文授業名 ※大学によっては英文成績通知書の記載のために必要となりますので，必ずご記入ください。	Regional Challenges and Perspectives Studies		
開講期間	2026 年度 後学期		
単位数	１単位		
授業提供大学	信州大学		
主担当教員氏名	佐々木　康浩		
副担当教員氏名	田嶋　朝羽		
授業のねらい ※該当しないもの行は削除してください。 ※授業で得られる地域活性化人材の能力と対応するように本授業の達成目標を設定してください。 ※「～することができるようになる」「～することができる」という形での目標設定を推奨します。	授業で得られる 地域活性化人材の能力	⇔	本授業の達成目標
	α　信州の活性化に係る知識・技能	⇔	
	β　信州の活性化に係る課題を発見・解決するための思考力・判断力・表現力	⇔	・信州の社会背景を基に課題を特定し、データや現地調査を活用して課題の原因や影響を説明できる。 ・地域課題に対する現実的で実行可能な解決策を考案し、具体的な計画として提示できる。 ・自分の考えや解決策を、視覚資料やプレゼンテーションを使って説得力を持って説明できる。
	γ　信州の活性化に係る課題を主体的・対話的に発見・解決しようとする態度	⇔	・自身の専門分野や興味を地域課題と関連付け、その解決策を主体的に考えることができる。 ・他者との対話や議論を通じて、課題を深く理解し、解決策を具体化できる。 ・地域活性化のプロセスを通じて、自分が果たせる役割を発見し、行動に移す意欲を持てるようになる。
授業の概要	本授業は、地域の問題や課題に対し、自分の学びや専門性を活かした解決策を考えることを目的としています。ポートフォリオ（大学での学びや経験を整理し、将来の目標を考える記録）を作成し、関心や強みを可視化します。さらに、デジタルトランスフォーメーション（DX）やゼロカーボン推進の基礎を学び、地域課題への応用を考察します。これらを通じて次年度以降に開講する地域課題 PBL への積極的な参加の準備を進めます。		
授業の計画	第 1 回	**ポートフォリオ作成① - 自分の学びを整理する** 大学での学びや経験を振り返り、自分の関心や強みを可視化する。ポートフォリオ（自身の成長や目標を整理する記録）を作成し、これまでに身につけたスキルや今後の目標を明確にする。	
	第 2 回	**地域課題を知る - 社会とのつながりを考える** 地域社会が直面する課題（少子高齢化、過疎化、環境問題など）を学び、自分の関心と結びつける。地域おこし協力隊の事例を参考にし、地域との関わり方を考察する。	
	第 3 回	**DX の基礎 - デジタル技術で地域課題を解決する** デジタルトランスフォーメーション（DX）の基本概念を学び、地域課題への応用方法を考える。地域におけるデジタル化などの事例をもと	

		に、DX の可能性を探る。
	第 4 回	**DX の応用 - 自分のアイデアを具体化する** DX を活用した地域課題解決のアイデアを具体化するステップを学び、自分のアイデアを整理し、実現可能性を考える。
	第 5 回	**ゼロカーボン推進の基礎 - 環境と地域社会の未来を考える** ゼロカーボン推進の基礎を学び、環境問題への対応策を探る。地域における事例を通じて、ゼロカーボン推進の重要性を理解する。
	第 6 回	**ゼロカーボン推進策の立案 - 持続可能な地域づくりのアイデアを考える** ゼロカーボン推進に効果的な方法・手段を考察し、一人でできることではなく、具体的に他社との協働する取組みを設計する。課題の整理や実行計画を立て、自分のアイデアを実現可能な形にまとめる。
	第 7 回	**専門性を活かす - 自分の学びを社会にどうつなげるか** 自分の専門分野と地域課題の関係を考え、具体的な活用方法を検討する。他分野との連携の可能性も探りながら、実践的なアイデアを深める。
	第 8 回	**ポートフォリオ作成② - 学びを統合し、次のステップへ** これまでの学びを統合し、ポートフォリオを完成させる。次年度の地域課題 PBL に向け、どんなテーマに取り組み、自分の専門性を活かしたいか、を明確にする。
	第 9 回	
	第 10 回	
	第 11 回	
	第 12 回	
	第 13 回	
	第 14 回	
	第 15 回	
評価 ※100 点満点の点数をどのように付けるのかを記載ください。(小テストの回数や配点等)	本授業の評価は、「ポートフォリオの完成度（20 点)」、「事前・事後課題の提出状況（50 点)」、「掲示板機能（ワークショップ）を使った相互評価（30 点)」を基に行います。ポートフォリオは、各回の学びを反映し、最終的に提出されたものを評価します。事前・事後課題は、指定された課題を期日までに提出することで加点されます。ワークショップでは、自身の提出課題以外に他の学生へのコメントも含め評価対象とします。定量評価を重視し、学生の主体的な学びを促進する仕組みとします。	
事前事後学習の内容	事前学習では、各回のテーマに関連する資料や動画を視聴し、課題に関する基礎知識を身につけます。 事後学習では、授業内で学んだ内容をもとに、ポートフォリオへの反映や、地域課題解決のアイデアを具体化する課題に取り組みます。特に、DX の活用やゼロカーボン推進施策の理解、専門性の応用については、学習内容を深めるための調査や考察を行い、次回の授業で活かせるようにします。	
履修上の注意	－事前・事後学習の取り組みが求められる 事前学習として指定された資料や動画を視聴し、事後学習として課題に取り組むことで、授業の理解を深められます。 －締切厳守 課題提出には期限があります。特にワークショップでは相互評価を行うために、課題提出がないと他の学生が総合評価できません。期限を守って提出するよう心がけてください。	

	－主体的な学びの姿勢を持つ オンデマンド型授業の特性上、自主的に学び、考えることが重要です。疑問点があれば、掲示板を使ったり担当教員に質問し、積極的に学習を進めてください。
教科書	特になし
参考書	特になし。